

第 2 回

太宰府市立学校給食改善研究委員会

議事録

太宰府市教育委員会

第 2 回太宰府市立学校給食改善研究委員会 議事録

- 1 日 時 平成 2 8 年 1 月 2 1 日 (木) 午後 7 時～午後 9 時
- 2 場 所 太宰府市役所 4 階 4 0 2 会議室
- 3 出 席 者 **【委員】**
百武委員、大石委員、椎葉委員、石内委員
古田委員、岡委員、大谷委員、中島委員
【事務局】
学校教育課長森木、義務教育係長鳥飼、
学校教育課主事朝川、学校教育課栄養士梅田
- 4 傍 聴 者 2 名
- 5 議 事 (1) 委員長あいさつ
(2) アンケート調査項目について
(3) その他

6 審議内容

○大石委員長

皆様、こんばんは。寒い中、お集まりいただきありがとうございます。
本日、第 2 回太宰府市立学校給食改善研究委員会を始めさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。それでは、お手元の資料を確認したいんですけども、レジュメと、太宰府市議会議長様のホッチキス留めのある資料、それから中学校給食に関するアンケートの意見一覧という資料、それから中学校給食に関するアンケートの冊子がお手元にあると思っておりますけれども、漏れはないでしょうか。
審議に入ります前に、今日の資料の説明を事務局の方からお願いしてもよろしいでしょうか。

○事務局 鳥飼

はい。それでは資料についてご説明させていただきます。まず、太宰府市議会議長橋本健様から中学校給食に関するアンケート内容の要望事項について、ということでご依頼の文書を頂いております。内容といたしましては、裏面に各項目として「小学校保護者用」に追加して欲しいもの、それから「中学校保護者用」に追加して欲しいもの、それから「小学校5、6年生用」については無しと、「中学校1、2年生用」については1問追加して欲しいと、その後には「教師用」と「共通」ということで、それぞれ具体的にアンケートの調査項目を追加してほしい旨のご依頼がっております。

それから2枚目でございますけれども、こちらも太宰府市議会の中学校給食調査研究特別委員会の委員長名で要望書ということで頂いております。こちらにつきましては、一般市民へのアンケートの実施を要望されるということで、理由といたしまして完全給食実施には多大な経費がかかると考えられるため、納税者である一般市民の意見も聞くべきである、ということで要望書を頂いております。

続きまして、A4の一枚ものでございますけれども、中学校給食に関するアンケートの意見一覧ということで、第1回の委員会におきましてお願いいたしました前回のアンケートについての修正・ご意見等を頂きまして、それを纏めさせていただいたものでございます。大石委員長、椎葉委員、それから古田委員から頂いております。

それから、最後ですけれども中学校給食に関するアンケートということでカラー刷りの冊子があると思いますが、こちらにつきましては、今申し上げました意見一覧の委員の皆様からのご意見を反映させたものです。それと事務局として、文言等変えた方がいいと思われるような所、前回のアンケートの時点から事態が変わっているものについては、それを反映させた方がいいと考えられるものを付け加えて修正させていただいております。

まず委員の皆様から頂いたご意見につきましては赤色、赤色で印字をさせていただいている部分が委員の皆様から頂いたご意見でございます。それから、二枚目をめくっていただきますと青色の印字があると思いますが、こちらにつきましては事務局として追加または、修正をさせていただいている所でございます。こちらをご了解の上、ご審議をお願いしたいと思います。以上でございます。

(大石委員長) それでは、審議に入りたいと思いますけれども、本日の審議はアンケートの調査対象についてということが1点、それからもう一つは今事務局の方からご説明がありましたアンケート調査項目についてのご審議ということになっております。

まず、アンケート調査の対象についてなんですけれども、前回実施されましたアンケートでは当事者である中学校の生徒さん、それから中学生の保護者の方、それから近々中学校に進学してくるということで小学校5, 6年生とその保護者、それから中学校の先生方、それから市民というような区分で実施されていたわけですけれども、先ほど中学校給食調査研究特別委員会からも要望書があって対象に入れてほしいというようなご説明もありましたけれども、その点に関して委員の皆様から何かご意見等ございましたらお聞かせいただけますでしょうか。

(大谷委員) その点に関してなんですけど、以前住民投票が確か埼玉の所沢市で実施された時にメディア等でもいろいろ報道がなされた中に、それぞれのいろんな世代の方からのコメントが全国的に発信されてあったんですね。私が少し心配しているのは、その中で小学校に上がる前の小さなお子さんだったと思うのですが、その方がエアコンを小学校の中に設置する前にまずは幼稚園や保育所にその費用を回してもらえないかというのが発言として出てきてて、幼稚園に入っている子だったので、その方も小学校に上がるのではないかと不思議に思っていたのですが、やはり目先の事をどうしても重要視される、そういう風なアンケート調査になるとすれば心配な部分があるかなと考えておりますので、市民の方を対象にするのであれば内容をしっかり押さえた方がいいのかなと思います。

(大石委員長) 市民の方を対象にするという風になりますと、無作為に抽出してお願いをするということになると思いますけれども、年齢とかはその時どうなるんですかね。事務局の方にお尋ねしたいのですが。

(事務局 鳥飼) 前回通りで行きますと、20歳以上の方に男女問わず無作為で抽出で行うということになります。

(大石委員長) 20歳以上の方ですね。大谷さんから出たのは、内容に注意してアンケートをしないと目先の事にとらわれた回答が来るのではないかということですね。

(大谷委員) そうですね。高齢者でしたら、学校給食の前にこちらの方に費用を回してほしいというような意見が出てくるようなアンケートはちょっとどうかと思います。

(大石委員長) 市民の方に対してということに関してはいかがですか。

(大谷委員) 前提条件として、全体を見据えたところで中学生の子どもたちを見てもらっての給食の是非、そういう風な意見があるのであればいいと思います。

(大石委員長) 他の委員の皆様はいかがですか。市民の方に中学生の給食の是非を問う、あるいはどういった形の給食が望ましいのかというようなアンケートはいかがだろうかというのがありますけれども…。

(岡委員) ちょっとよろしいでしょうか。太宰府東中学校の岡でございます。すみません、前はちょっと別用で来れなくて。意見としましては、市議会の意見ですが尊重すべきだと思います。ただしその時に、単純に給食についてどうですかということを探る前に、現状とかそれから実施した場合どのように費用が掛かるかとかそういったところのポイントだけはしっかり前に置いて、そうした上で答えてもらうような形をとるべきです。

(大石委員長) ありがとうございます。実態についてはお示しできますか。費用の面とかということになると、どのような実施を考えているかというのが入ってくるかと思うのですがけれども、どういう形がいいかということによって今回アンケートを取ることになると思うのですが…。

(岡委員) 例えば、今現在は選択方式でランチサービスがあつててみたいな形がありますよね。それで、完全給食にした場合にはこれだけの費用がかかりますという風な前提条件を押さえた上で質問内容を決めていただくとかですね、ただ単純にその時の気分次第で答えてもらうよりは、状況を踏まえた上でより望ましいのはどちらかということによって回答を頂くべきかと思います。

(大石委員長) わかりました。アンケートの内容につきましては審議事項の2番の所で審議させていただきますので、まず対象をきちんと設定

しようということで行きますと、お手元にあるアンケートを見ていただくとわかりやすいかと思うのですが、まず中学校の生徒1, 2年生用ということで中学校の生徒さんのアンケートが1種類、それから小学校の児童5, 6年生用というのが1種類、それぞれの生徒児童の保護者向けということで、中学校の保護者用、それから小学校の保護者用、続きまして教師用ということで先生方に向けたアンケート、最後に市民の皆さんに伺うということでアンケートの対象としては6パターンということになるかと思えますけれども、それでご異論が無ければそのような対象の設定になるかと思えますけれども…。

対象に関しては、それでよろしいでしょうか。

では、アンケートの調査対象については、その6対象について設定をするということで次の審議事項のアンケート調査項目についてのところをご審議いただきたいと思えます。事務局の方より説明がありましたように、委員の方々のご意見と事務局の方から若干文言の追加、修正が入っている分でお手元に資料が配られておりますけれども、開始の前に少し目を通していただいた方もおられたようですが、このまま内容の検討に入ってよろしいですか。お時間少し取りますか。

(古田委員) 時間取ってもらおうとありがたいです。

(大石委員長) では、5分くらいお時間取ってよろしいですか。

(岡委員) その前に1点ちょっとよろしいでしょうか。前回の分は見てきたんですけれども、言葉の整理はきちんとしておくべきだと思います。中学校の給食というのは現在は牛乳ですよね、ここでいう給食というのは小学校のようにご飯であったり惣菜であったりそういったのを含めたのが給食になってきますよね。そしてもう一つは選択方式としてランチサービスというのが入ってきますよね。ランチサービスは給食ではありませんよね。我々はそこらへんを分かっていると思うのですが、アンケートを取られた方はそこら辺の区別が十分ついてないと思うんですよね。ですから、すみません、今日配られた分はよく見ていないんですけれども、読み手がそこで言葉が混乱しないように整理しておくことが大切だと思います。以上です。

(大石委員長) ありがとうございます。そうしましたら、内容の検討の時にまたその辺で混乱が見られるようでしたらご指摘頂いて進めてま

いりたいと思いますが、まずは委員の皆様は資料に目通しいただく時間を取りたいと思います。

(大石委員長) 一通りお目通しただけでしょうか。そうしましたら手順といたしまして、委員の皆様のご意見と事務局が訂正されたアンケートをもとに一つずつ確認する形でアンケートがこういう形でよいのか見ていきたいと思います。

前回の平成 16 年に実施されたアンケートをベースにしていますが、今の実態の把握をすることで、この委員会から中学校での昼食あり方がどのようになるのが望ましいかということを検討する材料にしないといけないのでそういった視点で設問などにご意見をいただければいいかなと思います。

先ほどの校長先生のお話を聞いてアンケートを改めてみて思ったんですが、「中学校給食に関するアンケート」というタイトルがついているんですけど、そこに既に「給食」がはいっていることはいいのかな、と思います。設問の中には、「中学校での昼食」というような文言が出てくる場所もありますけれども、タイトルに「給食」という文言が出てくるのはいいかなものかなと、わたくしは思ったんですが。

(岡委員) いいですか。中学校の給食はあっているんですよ。「牛乳」という給食が。ですからたとえば、「調査ご協力のお願い」という四角枠がありますよね。その中でもその次でもいいですから、このアンケートでいう「給食」というのは、例えば小学校のようにご飯、パン、お惣菜がある給食をさしますと。ランチサービスについても、意味全然分からないというか。生徒の 1、2 年生やその保護者は分かると思いますが、小学生や一般市民はランチサービスといわれてもどんなものがどんなシステムで出来ているか全然分からないと思うんですね。そういったものを最初に簡単に書いてあげて、区別しておかないと回答が混乱すると思います。または、意味が分からないと思います。

(大石委員) この「調査ご協力のお願い」というのがありますが、文言をたたいていった方がいいのでしょうか。

(事務局 鳥飼) そうですね。できましたら皆さんにご意見いただいたものを正確に反映させて皆様にアンケートをできたらと考えています

ので、お願いしたいと思います。

(大石委員長) そうしますと、「調査ご協力のお願い」のところですが、「太宰府市教育委員会では、中学校給食についての皆さんの考えや思い、皆さんが学校に弁当、昼食を持ってきているかなど、その状況を把握したいと考えています。」他何か不足しているものはありますでしょうか。牛乳は出ているということくらいですか。

(岡委員) よろしいですか。去年ですかね、PTAの委員さんが「果たして牛乳給食は中学校にいるのか」というご意見もありました。その場で是非は審議するまではいきませんでした。都道府県によっては牛乳を止めているというところもあるみたいな話もあってと思います。だから、このアンケートがどこまで聞こうとしているかというのはありますので、抜本的に牛乳まで踏み込んでいくのか、それともちょっと置いていくのか、そういった部分からスタートになると思うんですね。

最低限必要なことは、ここでいう「給食」とは、ご飯やパン、惣菜など小学校のようなものを指します、ランチサービスというのは、こういうシステムでこういう内容です、という言葉の説明は必要と思います。

(大石委員長) その点、石内先生説明としてはどのようなものが適当ですか。

(石内委員) 中学校給食のランチサービスの仕組みをしっかりと把握していませんので。小学校の給食の説明なら…。

(岡委員) よろしいか。例えば、飛びますが、20ページ見ていただいて、一般用というのは市民用なんですかね。そうすると、先ほども言わせてもらいましたが、最初の前段の部分でランチサービスの話が全然出てきていないからですね、それから問1だけちょっと挙げてみると、「あなたは中学校給食についてどう思われますか」で中学校給食は今牛乳ですよ。ということは、この問いは「牛乳を実施した方が良いのか」「牛乳は実施しない方がよいのか」うんぬんなのか。ただし、一般市民の方は、この給食という言葉を見るとおそらく大多数の方は牛乳とは考えずに、小学校のように考えられると思うんですね。

例えば、そういうふうな正確な言い方をすると、おかしくなるということもありますので、アンケートの中に言葉の説明を入れた方がいいと

思います。

（百武副委員長）最初のところに完全に、これは学校給食という説明とか中学校で行われている牛乳給食（ミルク給食）とかいう説明ですかね。

（岡委員）ただ、牛乳をいれるかどうかというところはどうなんでしょうか。

（百武副委員長）では、現状は「牛乳のみを給食として出しています」というような表現なのかいろいろ考えられますが。

（大石委員長）給食の区分自体が主食とおかずとミルクがついているものを完全給食と呼んでいますし、主食だけを出している給食をおかず給食。それとミルクだけ出すミルク給食。中学校や高等学校であったり、そういったところで、だいたい3つの形があるとおもいますが、その区分けが分かるようにということですよね。

（岡委員）そうですね、アンケートのまずどういう趣旨でアンケートをするか、その趣旨に基づいてどこまで尋ねればいいのか、どこまで言葉の定義をして聞くかというのは大前提として置いておくべきだと思います。

（大石委員長）そうしますと、今の太宰府市の中学校では学校ではミルクを提供しています。お弁当を持ってくるかパン等を買うか、ランチサービスを利用している、という現状でそれを今後どのようにしていくのがよろしいと考えますか、ということが趣旨になるかと思いますが。

（事務局 森木）頁は5頁ですが、児童5、6年生に対するアンケートの「調査のご協力をお願い」の所をご覧ください。これはもちろん中学校に入学する前のお子さんです。ちょっと読みます、「太宰府市の中学校の給食は牛乳のみを学校で準備し、生徒の皆さんは家庭から弁当を持ってくるか暖かい弁当を注文できるランチサービスか、学校売店でパンやおにぎりを買って昼食を食べています」というような形で説明をしておりますけれども、これを例えば中学校の1、2年生に対しても説明書きを入れるという形をとってはどうかと考えますがいかがでしょうか。

(百武委員) 続けてこれだと、あたたかい弁当がランチサービスなんです。ほんとに温かいんでしょうか。

(事務局 鳥飼) はい。

(百武副委員長) この質問に対しては、こんな「温かい」とか装飾はいらないのかなと。「ランチサービスは温かいんだ」という夢や希望があるようなランチサービスという感覚を小学生であれば持つのではないかと。「ならランチサービスがいいよね」とか。

(岡委員) これも正確に言えば、温かいものは温かいし、冷たいものは冷たいです。ですので、ゼリーのようなものがついてくる時は冷たいです。

(百武副委員長) 私まだ食べたことがないので…。

(岡委員) 私は3年間食べましたので…。

(百武副委員長) ランチサービスと売店で買うパンやおにぎりとは全く別物という感覚でとらえるのです。大前提として。

ついでに、学校売店は並んで買うんですか？パンや弁当。注文しないんでしょうか。

(事務局 鳥飼) パンは事前に注文して、昼休みに取りに行くという形です。

(百武副委員長) では、ランチサービスとシステムとしては同じようなものですね。

(岡委員) 一つ決定的に違うところがありますよね。ランチサービスについては2週間前に予約して食べる形をとっているんですよね。パンやおにぎりは当日にでも買える。そこがちょっと違うんですね。ランチサービスのシステムについて、意見があるとするならば、できれば当日注文が出来れば良いという意見があるのは確かなんです。

(百武副委員長) 小学生には三つの区分などわからないだろうという疑

問がありましたし、保護者の方や一般市民にとっては全く分からないと思います。

ですので、定義をしっかりと明確に整理しておかないと、小学生に問うのは難しいのではないかと思います。

（古田委員）今言葉の定義というところのご説明があったと思いますが「アンケート調査ご協力のお願い」に色々書けないと思うんですね。なので、アンケートの前に一枚趣旨と言葉の定義を書いたものを作成するというのはいかがでしょうか、という風に感じました。確かに小学生はランチサービスなんか意味が理解できないと思うので考えようがないというのはおっしゃる通りだなと思いますね。

（大石委員長）説明の追加等は可能でしょうか。

（事務局 鳥飼）出来るだけわかりやすい、写真を入れたり、一枚付け加えることは可能です。

（大石委員長）校長先生等が言われたように、中学校の現状については給食の説明ということで、説明文を付ける。

（事務局 鳥飼）中学校給食の現状とランチサービスがどのようなものか、というようなものでよろしいでしょうか。それとも販売の方法等まで入れるのか。

（岡委員）あまり書きすぎてもいけないと思いますし、古田校長先生が言われたように、それぞれについて現状わかるようにしていただければ十分だと思いますけど。

（大石委員長）中学校についての給食の現状については別で一枚つけていただいて、「調査ご協力のお願い」にはたくさん書かない、ということでもよろしいでしょうか。

そうすると、中学生のところからいきたいと思います。一頁の間1のところは装飾については外してもいいのではないかと思います。このことについてはよろしいでしょうか。問2は学校に昼食を持ってきているかどうかという事を尋ねております。「毎日持っている」「時々持っている（週に3, 4回）」については問3へ、「あまり持ってき

ていない（週に 1、2 日）」「ほとんど持ってきていない」については問 4 へということで。問 3 は弁当は誰が作っているかを問うていますし、問 4 は持ってこない理由は何かを問うています。この辺りはいかがでしょうか。何か言葉の過不足ですとか質問の内容ですとかご意見はないでしょうか。

（岡委員）よろしいでしょうか。問 1 の「朝食」については、昼食と関係ないというより、朝食を食べているかのデータは全国学力学習状況調査のなかで数年前くらいから相当詳しく出ているので聞かなくても分かると思います。問 3 の「弁当は誰が作っていますか」については、「主に誰が作る人が多いですか」にした方が良いでしょう。

（大石委員長）二頁にいきますと問 5 ですね。問 2 「あまり持ってきていない（週に 1、2 日）」「ほとんど持ってきていない」と答えた人にお尋ねします、のところで、「あなたは弁当を作ってほしいですか」があります。それから問 6 の「弁当を持ってこなかった日、持って来れなかった日の昼食はどのようにしていますか」ということで青字の修正が入っていますけれども、1 から 5 までの回答が設定されています。

さらに、問 7 で問 6 「何かを買って食べている」「時々何かを買って食べている」と回答した方にその時何を買っているのか 1. パン、2. おにぎり、3. その他、それからパンとおにぎりについては個数と金額を訪ねています。問 8 で問 6 「何も食べていない」と答えた方にも「なぜ何も食べないのか」ということを尋ねています。このあたりで言葉の過不足ですとか質問案の内容ですとかについてご意見はないでしょうか。

（岡委員）問 6 の回答 1. 2 の違いがよく分からないのですが。これは持ってこなかった日、「パンなどを買って食べている」と「時々パンなどを買って食べている」というのは、時々は入っていますよね。そして、丸（選択）が一つですよね。これは何を意図しているんですかね。聞くのであれば、持ってこなかった日はパンを買うときもあるし、何も食べないで小遣いを貯めたりすることもある。そんなことを聞くのかなど思ったりですね。「弁当を持ってこなかった内容の趣旨からするとランチサービスを利用している」が 4 番で、最後「必ず持ってきています」というのは 5 番になりますよね。それが問 9 に続くんですか。

（椎葉委員）4 番、5 番だけが問 9 に進むのがちょっと分からない。

(岡委員) 平成 16 年度の意識調査についてよろしいですか。質問項目をある程度重ねるのはあっていいと思います。経年変化であったり、数値を比較できるからですね。新しくこれをもとに今システム変わってますので取捨選択がいいかなと思います。

(大石委員長) 問 6 はパン等に変わっただけで前はこのままだったんですかね。

(事務局 鳥飼) そうですね、それで 5 番「ランチサービスを利用している」を加えただけですね。

(大石委員長) そうしますと 2 番の「時々」というのは要らないことになりますかね。「パン等を買って食べている」「何も食べていない」「ランチサービスを利用している」「持ってこない日はない」の四つになりますかね。

(事務局 鳥飼) 1 番「パン等を買って食べる」と 2 番「時々パン等を買って食べている」の違いは毎日お弁当を持ってこられるかどうかです。

(大石委員長) 毎日と答える人ばかりではないので、時々パンというのもこのまま残るということですかね。

(岡委員) その解釈は少し難しいし、それだったら別にちゃんと起こして質問した方が良くと思います。問 6 の前提は「あなたは弁当を持ってこなかった日」なので、年に 1 回か 2 回くらいは弁当ない子もいるし、毎日ない子もいると思いますので、ある意味全員に当てはまるといえば当てはまると思うんですよね。その時の対応で丸が一つになっていますからね。

(大石委員長) 複数回答なら答えやすいかもしれないですね。

(岡委員) 「パン」と「ランチサービス」と「何も食べていない」の三択ですよ。「弁当を持ってこなかった日はない」というのは、あってはいいと思いますけどね。ということは全部必ず弁当だったというのがどれぐらいだったというのが分かるわけですね。

(大石委員長) 問2の「学校に弁当を毎日持ってきている」と重複しないんですかね。

(岡委員) そうですね。

(大石委員長) 昼食だから、この辺ちょっと不確定なのでもう一回問6で聞いてあるんですかね。

委員の皆さんが中学生だとして「持ってこなかった日はどうしていますか」と聞かれてどれを答えますか。

(岡委員) よろしいですか。実際色々思ってるんですよ。Aさんがいた場合、今日はパンを買いました、この前はランチサービスを頼みましたとかですね。様々だと思うんですけどね。何も食べていない子は少ないけど、ゼロではないだろうと思いますね。お小遣いをちょろまかそうとか思っている子もいますから。朝、親から五百円もらってその日は食べない。でも必ず担任がついていますから、食べない子がいた場合は声をかけるはずですけどね。

(大石委員長) そうしますと、問6の回答はいかがでしょうかね。今五つ設定されていますけど。「パンなどを買って食べている」「ランチサービスを利用している」「何も食べない」それぞれに「パンなどを・・・」が問7へ進みますし、「何を食べない」は問8の「なぜ食べないのか」へ進みます。そうしますと、問9が無用ではなくて、全員の方にとというのが生きるんですかね。

(百武副委員長) 問7は、何を知りたいがために、この設問があるかということですよ。

(大石委員長) パンやおにぎりにどれぐらいの費用をかけているか、ということですかね。

(事務局 鳥飼) そうですね。昼食代として、どの程度使っているかというのを最初の案件の時はお聞きしたということですね。

(古田委員) 時間もかなりかかっているし、答えも子どもたちや生徒たちが迷わなくてよいように単純化するというので回答も先ほどの三

種類でいいと思いますがどうでしょうか。問6の分です。

(大石委員長) 費用の分ですね、パン等を買って食べているという問いに対してどれくらい費用を使っているかという把握は残した方がいいですか。あるいは不要である。どうでしょうか。

(百武副委員長) これは何に生きてくるのかな。どうなんでしょうね。

(岡委員) 進行に意見良いですか。今始まって一時間経過したんですが、このペースでやると明日になってしまうので。ですから進行上、この後の見通しを先に立てるのはどうでしょうか。

(事務局 鳥飼) 事務局からです。今問6ですけれども、古田委員さんよりご意見いただいた1「パン等を買って食べている」3「何も食べていない」5「ランチサービスを利用している」のみ生かすということですが、皆さんよろしいでしょうか。

(一同) はい。良いと思います。

(岡委員) 「パンなどを買って食べている」が1、「ランチサービスを利用している」が2、「何も食べていない」が3ですね。「弁当を持ってこなかった日はない」は消去でいいですかね。

(大谷委員) これは弁当持ってきている子は、未記入という設問になるんですよね。全員の方に答えてもらうという内容になっていないので。

(岡委員) 一応、「必ず毎日弁当がある」という答えを残してあれば、答えられますよね。

(大石委員長) 問6はそれでよろしいですか。

(事務局 鳥飼) 4番を残すということではなく、弁当を持ってきている子は答えないということですね。

(大石委員長) 弁当を持ってこなかった日というのが前提なので「弁当を持ってこなかった日はない」という回答はそぐわないかなと思う。

(大石委員長) ほぼほぼ毎日弁当という子はそうそういないと思うので、全員に尋ねていいと思うんですけど、持ってこない時はどうしているのか、という回答が得られればそれで良いのではないかと、三つ選択肢があれば把握できると思います。さらに、パンやおにぎりを買うということについて使っている価格の把握が必要ではないかと思います。

問8については、食べていない方について、理由を聞いているところで特に問題ないかと思いますが、何か付け加えるものとか外すものとか、ありますでしょうか。特にご意見が無ければこれはそのままいきましょうか。

(岡委員) 今問6で1、2、3とあって1と3はあるんですよね。ランチサービスについては問が何もありませんよね。4ページまでを見たときに子どもがランチサービスに満足をしているか、おいしいと思っているか、おいしくないと思っているか等の質問は一つもないんですかね。

(事務局 鳥飼) そうですね。

(岡委員) それでしたら、ランチサービスについても満足している、していないなど、一つ設問を作るとバランスが取れるのではないのでしょうか。現状についてどう思っているのかは聞いていいと思います。問6の選択肢は一つがいいですかね。該当するものに丸でもいいと思いますけどね。

(大石委員長) 良いですかね。該当するものに丸をつける。ランチサービスのところでは、満足度や量などについての設問を起こすということで。そうしますと、順番的には問9になりますかね。

(岡委員) 正確に言えば、問6で聞きますよね。1番がパンですから問7でいいですね。2番がランチサービスになりますから、問8がランチサービスで、現在の問8が問9になりますね。

(大石委員長) そうしますと番号が一つずれますので、二ページの間9が問10になりますけれども「次の二つの考え方について、あなたの考えに近いと思う方に丸印をつけてください」というところになります。が・・・考えについてなので全員にというのがそのまま生きると思います。

(大石委員長) それでは、三ページに行きたいと思います。問10、問11になりますけれども、これは「あなたは全員が給食をとる、全員給食方式についてどう思われますか」という問いですが、回答が「実施した方が良い」、「実施しない方が良い」、「どちらでもよい」となっていますが、いかがでしょうか。不足または省いた方が良いという所はありますでしょうか。

また「実施した方が良い」と答えた人が回答する問11について、選択肢が九つありますがいかがでしょうか

(百武副委員長) 問12の4「家族以外の人で作ったものは食べられないから」は何なのでしょう。潔癖症等のことですかね。

(大石委員長) 4番の「家族以外の人で作ったものは食べられないから」というのは何か理由があるんですか。

(事務局 鳥飼) これは極端な例だと思いますけれども。

(大石委員長) 「実施した方が良い」の理由、「実施しない方が良い」の理由についてはいかがでしょうか。そちらで進めてよろしいでしょうか。

(一同) はい。

(岡委員) ここでは意図的に前回のアンケートと同じ内容にしているんですよ。前回と同じ内容に青文字のランチサービスの内容が追加されていると説明していただければ進行できるのではないのでしょうか。

(事務局 鳥飼) はい。

(大石委員長) では、前回の内容に青文字のランチサービスが追加されているということで進めていきます。問13については、実施方法を中学生に聞いており、回答が「全員給食方式」、「選択方式」、「どちらでもよい」という意見を聞いている。

(百武副委員長) ここで初めてランチサービスが委託業者ってことが出てきたんですね。

(大石委員長) 統一した方がいいですかね。しつこいのであまり書かない方がいいですかね。

(岡委員) それで最初に別紙を一枚つけて、ランチサービスとはこういうものですという説明がしてあるのでここでは記載不要ではないでしょうか。

(大石委員長) 問 1 4 は削除になっておりまして、問 1 5 ですね。フリーで意見や要望を聞いています。それから属性のところですけど、性別、学年、学校名、クラブ活動をしているかどうかというところになっています。

中学生の分についてはよろしいでしょうか。

(岡委員) 最後に一つよろしいでしょうか。前回の分では、理由を聞いたりしていますよね。それは今回外されたんですね。

(事務局 鳥飼) 基本、質問事項は何も加えたり、削ったりはしていません。

(岡委員) 給食がなぜ良いかとか、給食に反対する理由とかが前回ありますよね。例えば、19 頁は給食に賛成する理由で中学生の回答があるし、22 頁は反対の回答があります。

(事務局 鳥飼) 現在審議中の資料 3 頁の問 1 2 に実施しない方が良いとお答えした方にお尋ねします、その理由が何ですか、というところをまとめたものが今おっしゃられた部分です。

(岡委員) そうですね、大変失礼いたしました。

(椎葉委員) すみません、聞き漏らしたかもしれませんが、問 9 の青文字「無用」は消えるんですね。

(事務局 鳥飼) はい。そうですね。

(椎葉委員) 問 7 は問 9 への説明書きを追加した方が分かりやすいと思いますがいかがでしょうか。

(事務局 鳥飼) 椎葉先生からご意見いただいた「問9へ」は加えてよいでしょうか。

(岡委員) はい。それは分かりやすくして頂いた方が良いです。

(大石委員長) そうしましたら、中学校の生徒さん用の分が全て進められるかと思うんですけど、このままやっていたら……。児童とそれぞれの保護者用と先生方用と教師用とありますけれども、皆様のご意見を反映したものがここに載っているということを前提にしますと、あと特にここは気になるというところを指摘していただいて、前回のものを踏襲しているということで、皆さんの意見が特にあるところをみていき、九時ぐらいまでには終わりたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

(一同) はい。

(大石委員長) それでは児童の5, 6年生用のところで特に気になられるとか、修正をかけた方が良いところがありましたらご発言をお願いしたいと思います。

(岡委員) 確認ですが、児童の5, 6年生用にも別紙で説明をつけていただくということでよろしいですね。

(事務局 鳥飼) はい。

(大石委員長) 私は特に児童の皆さんが分かりにくいような設問や回答はないと思います。

(古田委員) 答えられると思います。

(大石委員長) そうしますと、問1と問2は削除されていますのでどの給食があった方が良いかどうかという設問とある方が良い理由、ない方が良い理由、それからどのような方法で昼食があるのが良いかというところになるかと思えます。

(岡委員) これすごく難しいと思うんですよね。というのは小学校5, 6年生はランチサービスと紙に書いてあっても何かわからないですよ

ね。ですから小学校5, 6年生の気持ちで今給食があっている、中学生になったら給食が良いか、嫌か、それは答えられると思うんですけど、代わりにランチサービスが選択制になってるんだよ。では「ランチサービスって何？」紙には説明が書いてあっても、経験したことない、みたこともないものと今の給食を比較することは難しいですよ。

(百武副委員長) パン買うのとかランチサービスなどは給食とは違う一つのかたまりですよ。それが前提になると思うんですよ。

(岡委員) そうですね。同じになりますよね。だから弁当かパン・おにぎりかランチサービスか自由選択なんですよ。大前提は。

(百武副委員長) ランチサービスが非常に言葉が多いもので。

(岡委員) このアンケート関係は今日中に仕上げるんですか。次回もあるんですか。

(事務局 鳥飼) これ事務局からですけど、学校の方をお願いして、回収して業者さんに分析していただく日程になっておりまして、年度内には結果を出したいと考えています。そして結果をもとに皆様にお諮りしたいと考えています。ですので、できましたら今日中にご審議いただきたいと思えます。

(岡委員) 今副委員長さんから大前提として三択からスタートするのが分かりやすいのではないかとありましたけど、ここで言うよりも、それをもとに一回作成していただいて。それをしないとなかなか話が進まないところがあるかなと。

(百武副委員長) 様式ですが、できれば繋がるような線や矢印を入れておくと回答がしやすいではないか。また有効数も増えるのではないのでしょうか。業者の方が整理されるんですよ。

(事務局 鳥飼) 様式については事務局の方で作りまして、業者をお願いします。

(百武副委員長) 要するに完全給食なのか、個人で自由にパン、おにぎ

り、ランチサービスを選ぶという二つですよ。完全給食か選択制かが聞きたいんですよ。

(椎葉委員) 完全給食が良いのか、今まで通りの給食がいいのかを聞きたいんですよ。他に選択方式はまだあるんですかね。給食をしないとか。

(百武副委員長) ランチサービスを今後とも継続したいからあえてランチサービスという設定を多めにしているんでしょうか。

(事務局 鳥飼) いえ、今現状としてランチサービスを事業として生徒さんに食べていただいている状況なんですよ。平成16年の時には実施しておりませんでした。今現在ランチサービスを実施しておりますので、現状を把握するために答えの中にランチサービスを入れています。

(大石委員長) これでいいですか。それでは小学生の5, 6年生用についてはそういったところで確認させていただきましたので、中学校の保護者用のところで特にここはという箇所がございましたら。

(岡委員) 問1ですが、2番の「時々作っている」が週に3, 4日と書いてあるんですが、週が5日しかないのに3, 4日作っていたら時々ではないと思うんですが。表現の仕方ではミスリードになりますから、前回も同じだったんですかね。

(事務局 鳥飼) そうですね。

(岡委員) これは修正した方がよろしいのではないのでしょうか。正確に言ったら1番は、中学生にもありましたけど「ほぼ毎日作っている」は180回作れば1回くらい作らない日もあるし。もっと言えば、PTAのバザーがあるとか特異なケースもあるので、1番は「ほぼ毎日作っている」、2番は「よく作っている」もしくは「作っている」ではないのでしょうか。3番の「あまりつくりたくない」は時々作っている、週1, 2回でも結構作っていると思うんですけどね。いかがでしょうか。

(大石委員長) 他の委員の皆さんはいかがでしょう。

(百武副委員長) 三つですね。

(岡委員) 1番を「ほぼ毎日」2番を「よく作っている」もしくは「作っている」、3番を「時々作っている」、4番を「ほとんど作らない」。

(大石委員長) 週に3、4回が生きるのであれば、何もつけない「作っている」でもいいと思います。

(大石委員長) それは、生徒さんのところも同様ですか。

(岡委員) 生徒さんの場合は1頁目なんですけど、問2ですよ。毎日持ってきているというのは正確には「ほぼ毎日」になりますよね。

(大石委員長) そこは合わせた方がよろしいですよ。

(岡委員) はい。

(大石委員長) 生徒のところに戻りますけど、そこはよろしいでしょうか。問1の3「あまり持ってこない」はそのままですね。

(岡委員) 生徒用ですか。週に1、2日ですからね。ですから保護者の方は「時々作っている」が良いと思います。正確に言うと週1、2回でもお仕事されている方にとっては「時々」などの表現は失礼になるかもしれませんね。「週に1、2日は作ってあげてるんだ」という方もおられると思いますし。

(大石委員長) それ以外の中学校保護者用のところで何かございますでしょうか。

(椎葉委員) 副問1の6「深夜業であるから」、ここがいるのかなと。深夜業だから弁当作る時間がないんじゃないかなと。ここに丸を付ければいいかなと。

(大石委員長) 削除しますか？

(岡委員) 腹かく人もいます。

(大石委員長) では、6を削除して番号が繰り上がります。それ以外に何かございますでしょうか。

では、特にご意見が無ければ小学校の保護者用に移りたいと思います。中学校の保護者用とは全く違った設問があるかと思えますけど、気になるところ、言葉の過不足、好ましく表現などありましたらご意見ください。

(百武副委員長) この保護者用にも別紙の説明書きはつくんですね。

(大石委員長) はい。

古田校長先生何かご意見有りますか。

(古田委員) いや、特にはないです。

(大石委員長) 石内先生、何かご意見有りますか？

(石内委員) 14頁の副問1の10番「ランチサービスが利用しにくいから」は利用したことない保護者にとっては分からないと思います。

(大石委員長) 14頁の副問1の10番「ランチサービスが利用しにくいから」は取る方が良いですか。それとも適切な表現にしたほうが良いですか。

(椎葉委員) それか「利用しにくそうだから」などの言葉ですかですね。前にもランチサービスの説明があるので・・・副問2も「ランチサービスで十分だから」というのが出てくるからですね。「十分そうだから」とか。

(大石委員長) 「利用しにくそう」など想像しているくらいの表現ですかね。

(百武副委員長) 聞いている人もいるかもしれませんしね。

(岡委員) いいですか。今副委員長さんからありましたように、13ページの問1全部が大変、大変、大変・・・となっていますが、これはミスリードですよ。

(百武副委員長) 楽しんでキャラ弁作る保護者の方もいらっしゃると思いますし。

(岡委員) 1番が「非常に大変そう」、2番が「やや大変そう」であるならば3番は「有意義である」や「楽しそう」、4番は「とても有意義」などにしないと偏りますよね。

(百武副委員長) 今、弁当作りの日なんかは、小学校ではやっていますからね。それは継続しないといけないと思います。子どもは楽しみにしていますよね。

(岡委員) 仮に学校完全給食になったとしても、食育の視点からお弁当の日を作りましょうとか、そういった取り組みは進んでいくと思うんですよね。そういった意味では、お弁当作りは大変だからで片づけるのはよろしくないと思います。

(大石委員長) 百武先生、問1の3、4はどのような表現がよろしいですか。

(百武副委員長) 楽しそうな方からもってきてください。希望のあるような明るい回答を。

(岡委員) 3番の「有意義である」とか4番の「とても有意義である」とかはどうでしょう。

(大石委員長) では、問1の回答の3が「有意義である」4が「とても有意義である」でいかがでしょうか。

では、小学校の保護者用で他の意見等はございますでしょうか。

(岡委員) 一点だけいいでしょうか。お金の問題は全然触れなくていいんでしょうか。

(事務局 鳥飼) 残していただいたら前回調査と比較できるのではないのでしょうか。

(岡委員) 給食になった場合は当然お金がかかるわけですから、一つか

二つくらいは聞いていいのではないかと思います。

パン代とかで前は保護者の感覚で198円とかでしたよね。今回保護者の感覚でどれくらい変わっているかというのは問5、問6どちらか残しておいてもいいと思いますけど。

(椎葉委員) これを聞いたらそれにしないといけないから要らないのかなと思ったので聞かなくていいのかなと思いますけど、必要であれば。

(大石委員長) その点、他の委員の皆様はいかがですか。

(古田委員) 私も椎葉委員と同じ考え方です。小学校の給食費がいくらというのは、払って分かっていますから中学校は量が増えるだろうから高くなるだろうなと簡単に予想はつくとおもいますけども。「払えますか」というのは要らないと思います。

(岡委員) 是非入れていただきたい。給食をするということはお金がかかるということを感じていただくためにも。校納金未納の問題などもあるので触れていただきたい。何を聞くのかは別ですが。ランチだったら360円。給食だったら1食がいくらになるのかが一つの目安になると思う。お金の問題は絶対ついてくる。税金で出していくわけですからそこをブラインドにしたまま話を進めていくのはフェアじゃないと思います。

(椎葉委員) それか最初の説明の時に小学校は〇〇円なので中学校はおよそ〇〇円になるというように書かれてあるといいかもしれませんね。

(岡委員) 市議会の方から一般市民にということでお金がかかるだからというのがありましたよね。その意向を汲めば、やはり質問の中にあっという解釈もできると思いますけどね。

(大石委員長) そうしましたら今ご意見が色々出ておりますけど、設問として残すのか、現状の把握の部分で表面の別紙に小学校での月額、中学校でもし小学校のような給食をすれば月額いくら程度になるということと、一食がいくら程度になるというのをお示しするというのはいかがでしょう。

(事務局 鳥飼) そうですね。それは可能です。ただ金額としては例えば、県内の他市町村では〇〇円くらいですなどの表現にはなると思いますが。

(大石委員長) でも目安になるので保護者の方はそれくらいお金がかかるんだなとお考えになればそれはそれでよろしいかと思えます。

(百武副委員長) 今ランチサービスは補助金が出てますでしょう。だから給食になったらそれだけの補助金を全員に出すとか出さないとかいう意見も出てきそうな気がします。先のことですが。300円の中に補助金が入っているんですかね。

(大石委員長) 360円で60円が補助ってことですね。16頁にご意見を書いていただく欄とかもありますので、そういった方はその欄をご利用されるのではないのでしょうか。

では小学校の保護者用はそれでよろしいのでしょうか。

(一同) はい。

(大石委員長) ありがとうございます。次は17頁の教師用になります。お気づきの点等ございましたらお願いいたします。17頁から19頁になっています。教師用は中学校の先生にお尋ねする分ですかね。

(事務局 鳥飼) はい。そうです。

(大石委員長) 岡先生、何かありますでしょうか。

(岡委員) はい、三つくらいあります。一つは、設問1の「実施した方が良い」というのはその他があれば12番に記入できるんですね。で、設問2は「実施しない方が良い」の理由として一つはアレルギーへの対応等が心配、二つ目は給食費未納への対応の不安、三つ目は体験活動への影響。給食に縛られて子どもの良好な活動ができないという心配があります。

副問1は回答が12番まであって、副問2は今7番までありますので、8番「アレルギーへの対応が不安」、9番「給食費徴収の問題」、10番「体験活動などの期日変更が困難になる」、あとは「その他」を追加して

はのでしょうか。

(大石委員長) この副問 2 については三つとその他については入れられますでしょうか。

(事務局 森木) 大丈夫です。追加します。

(大石委員長) ではそのようお願いいたします。それ以外に、教師用のところはございませんでしょうか。そうしましたら副問 2 に回答肢を増やしたところで実施させていただくことになります。

(大石委員長) それでは、最後の一般用になります。20 頁、21 頁の見開きの分になります。これについては、ご意見ありますでしょうか。

(岡委員) よろしいでしょうか。最初に私が触れさせていただいたように前段に二行程度の文章がありますが、これではわからないと思いますので市民用についても別紙の説明文をつけてアンケートに答えていただく。それで、問 1 で「実施した方が良い」と「実施しない方が良い」というのもあるし、「今のままでよい」という考え方もあると思います。それから「どちらでもよい」の四つの選択肢になると思うんですよね。

もしくは 2 番を「実施しない方が良い」か「今のままでよい」に合わせるのか。そこは微妙にニュアンスが違うところもあるんですよね。例えば、給食について必要ないだろうとなれば「実施しない方が良い」と判断されると思いますし、今の形でうまく回っているんだから、あえて変える必要が無いと考えれば「今のままでよい」になるんでしょう。その方の考え方で答えは違ってくると思いますけどね。

そして「どちらでもよい」というのはあってもいいと思います。それに対して副問 1、2 がありますから、このパターンはこれ、というように分ければいいと思います。

(大石委員長) 今の意見はどうか。回答肢を四つにする。「実施した方が良い」「実施しない方が良い」「今のままでよい」「どちらでもよい」

(岡委員) 次よろしいでしょうか。副問 1 の 8 番「給食の方が経済的に安くつくと思うから」というのはミスリードではないでしょうか。お弁

当の方が安いでしょう。

（大石委員長） どうでしょうか。量によると思いますが。

（事務局 鳥飼） 一応、対比形式みたいになっています。副問 2 には「弁当の方が経済的に安くつくと思うから」となっています。

（岡委員） なるほどですね。この前、食育の研修会に行ったときに九大の先生が「うちは経済的に厳しくて、カップラーメン一つ食べるんですよ」とかいうけれど、それは間違いです。家でちょっと食事作った方が絶対安くつくと言われてましたね。

（椎葉委員） 意見書にも書いてましたけど、本市の中学の現状についてランチサービスの挿入についてお願いします。

（百武副委員長） ここではランチサービスが消えているんですよ。前のままなので。ここは前文が見直されれば入るんじゃないですかね。

（大石委員長） 他に何かありますでしょうか。

（岡委員） 問 2 にあっていいですか。問 2 が今までと同じパターンであれば、1 番はいいですよ。2 番は文面が違っていましたよね。他と同じように合わせた方がよいと思います、

（大石委員長） では、残りの問 3、4 について何かございますか。

（岡委員） いいですか。問 3、何となく分かったような分からないようなことだと思いますけど。ある意味全部当たり前なような感じもしますけどね、丸も二つまでですかね。給食をしている市町からきた教諭に聞いたときに一番気を使うのはアレルギー症状への対応。すごく気を使うそうです。入れていただけるのであれば、「アレルギーへの配慮」など入れていただけたらと思います。

（大石委員長） 最後に一般の方向けに属性を尋ねるところがあり、4 番目に家族構成を聞いてありますが、これは何かに生きますか。

(事務局 鳥飼) 前回のアンケートでは、こういった家族構成ではこういった傾向がみられるか。そういった傾向をみるための質問ですね。

(大石委員長) わかりました。そうしましたら、駆け足でしたけどこれで一通りご審議いただいたということになりますが、最後にもう一度振り返ってここが気になるとかいうことがございましたらお願いいたします。

(事務局 鳥飼) 一点確認ですが、小学校保護者用の15頁になります。先ほど問5, 6のお金の分ですが両方とも生かすということによろしいですか。

(大石委員長) わたくしは、赤い字のまま表の分に費用のことに關して小学校の現状と中学校の県内の状況をお示しして、月額費用と一食当たりの費用をお示しするというので認識していますが。

(事務局 鳥飼) では設問としては無しということで、ありがとうございました。

(事務局 森木) 確認ですが中学校保護者分の11頁にも同じような箇所がありますが、これも無しということでよろしいですか。

(大石委員長) こちらも金額の部分は外すということで。

(岡委員) 最初の説明書きで明示すれば意味が分かると思いますので。

(大石委員長) ありがとうございました。そうしましたら審議はこれで終わらせていただきたいと思いますと思いますが、事務局からの連絡をお願いします。

(事務局 森木) 長時間のご審議ありがとうございました。このアンケートにつきましては近日中に整理をいたしまして、児童、生徒、それから保護者、今日審議していただいた方に調査をいたしまして業者の方にアンケートの集計をしていただきます。その期限といいますのが3月の中旬以降、下旬頃にしか出来上がらないということで、できましたら次回は21日の週、もしくは28日の週に開催していただければ考えてお

りますがご都合いかがでございましょうか。年度末の大変お忙しいと思いますけど。

（岡委員）時間は19時からですか。

（事務局 鳥飼）そうですね。委員の皆様のご都合により柔軟に対応いたしますが。

（大石委員長）今の段階で、事務局から連絡がありました日程で都合が悪いとわかってらっしゃる方おられましたら教えていただいてもいいですか。

（岡委員）25日はすでに予定が入っています。

（百武副委員長）小学校、中学校は夜までのある学校行事があるんじゃないですか。異動もありますし。

（椎葉委員）私は28日は予定が入っています。

（岡委員）よろしければ、22日か23日の早いうちにさせていただければと思います。皆様のご都合がよろしければ。

（事務局 森木）22日か23日でご都合はいかがでしょう。それでは決定しましたら、また通知を差し上げますのでよろしくお願いします。

（事務局 鳥飼）開始時間についてはいかがでしょうか。

（事務局 森木）もうちょっと早くしてほしいとか遅くしてほしいとかありましたらおっしゃってください。

（百武副委員長）では22日か23日の予定で。

（大石委員長）19時の予定でよろしいですかね。そうしましたら次回はアンケートの結果があらあら出てきて、それを基にまた審議を進めるということですかね。では、長時間にわたりましたありがとうございます。ご協力いただいてありがとうございました。

(百武副委員長) あら刷りができないですか。先にコピーかなんかでもらえるとスムーズに審議できると思うんですが。

(事務局 鳥飼) この資料ですね。アンケートをお願いする前に皆様に見ていただいた方が良くということですかね。

(百武副委員長) アンケートに訂正になった箇所とか。

(事務局 鳥飼) はい、そうですね。今後のスケジュールで触れようと思ったんですが、集計作業の提出期限が2月の10日前後と聞いています。逆算して学校と保護者の皆様にお願いしようと計画しているところですので、事前に見ていただいてご意見を頂く時間があるかどうかですね。

1日2日程度の期間でもよろしいですか。

(古田委員) そういう短期間しかできないのであれば仕方ないですよ。

(事務局 鳥飼) では、ゲラを作りまして皆様にご確認いただき、ご意見を頂いてからアンケートを行いたいと思います。

資料をお送りいたしますので校長先生以外の委員さんは、ご連絡先を教えてくださいと思います。

(大石委員長) では、次回3月にまた開催いたしますのでよろしくお願い致します。本日は長い間お疲れ様でした。